

The NARA Physical Therapy Association News
奈良県理学療法士会ニュース

第139号

平成25年4月20日発行

発行：奈良県理学療法士会ニュース編集部
編集：奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科
発行所：〒631-0846 奈良県奈良市平松1丁目30-1
事務局：奈良県立奈良病院 リハビリテーション室内
編集長：栗本 尚樹（奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）
ホームページ：http://www11.ocn.ne.jp/~nara_pt/index.html



◆ 目 次 ◆

| | |
|------------------------------------|----|
| 巻頭言 | 2 |
| 理学療法士の代表として | 3 |
| 生涯学習部からお知らせ | 4 |
| 平成25年度奈良県理学療法士会専門領域勉強会 第1回特別講習会ご案内 | 6 |
| 一緒に呼吸療法認定士をめざしませんか？ | 7 |
| 新年会に参加して | 8 |
| 第1回介護予防推進セミナー 印象記 | 9 |
| 平成24年度第3回研修会 ～印象記～ | 11 |
| 平成24年度第4回研修会 ～印象記～ | 12 |
| 平成24年度第7回定例理事会議事録 | 13 |
| 平成24年度第8回定例理事会議事録 | 15 |
| 賛助会員一覧・会員数・施設数動向 | 17 |

巻頭言



中西 景司

昨今の急速な高齢化に伴い、医療費が増大し診療報酬の引き下げが行われるなど厳しい状況が続いています。その中で、日常の業務に追われ多忙な日々を送られている方も多いのではないのでしょうか。

私が理事をさせていただいてから2年間の間がたちました。その間に東日本大震災や、診療報酬・介護報酬の改定など様々なことがありました。会長をはじめ、先輩理事や各部・委員会の皆さんが日常業務の傍ら精力的に活動されている姿を見て、何もすることができない自分の無力さを痛感しました。しかし、今まで以上に理学療法士の資格の可能性を感じ、また理学療法士会という組織がしっかりと機能することが、理学療法士の職域を広げることに繋がるということを実感しました。

実際に自治体や各種団体から様々な依頼があり、スポーツや医療・介護など様々な分野で多くの士会員の方が活動されています。その活動一つ一つが理学療法士の地位や社会的認知の向上に貢献していると感じました。私は入職して十数年経ちますが、恥ずかしい話これほど多くの士会員の方が、様々な分野で活動されていることを知りませんでした。しかし、今回理事をさせていただいて色々なことを感じ、考えさせてもらうきっかけになりました。

勝手な想像ですが、周りの人が入っているから、研修会に参加できるからという理由で入会している会員の方も少なからずいるのではないのでしょうか（実際に私がそうでした）。

研修会に参加する、士会のニュース・会誌を詳しく読んでみるなど、何かアクションを起こしてみてください。そうすれば、理学療法士会の必要性が少しでも理解していただけるのではないのでしょうか。

また、理学療法士の有資格者は10万人を超えています。そのため、理学療法士は医療・介護の分野だけではなく様々な分野で活躍しています。その反面、給料など理学療法士の待遇は厳しくなっているように思います。個人のスキルアップによって待遇改善を目指すことも一つの方法ですが、組織の力を利用する方法もあるのではないのでしょうか。他の団体と比べても理学療法士会の組織率は高くそれが大きな力になっているようです。私も微力ですが士会の力になれるよう行動していこうと思います。会員の皆さんも士会の活動にご協力よろしくお願いいたします。

理学療法士の代表として 本会は職能活動の一環として、

前 衆議院議員
山口かずゆき 氏の政治活動を応援しています！

政策方針（理念）

私は理学療法士（PT）として長年医療機関や介護施設等に携わり、リハビリテーションによって患者さんが回復することを願いながら従事してまいりました。

望まない病気に罹って体が不自由となり、元の姿に戻って何とか自立しようと必死にリハビリテーションを続ける患者さんと向き合うことで、人としての本当の幸せとは何だろうと自問自答し、患者さんやその家族の方々に気づかされることも多くありました。

声なき患者さんの声が次第に聴こえてくるようになり、「人・家族、そして健康とは何だろう？医療・介護に従事する者は本来どうあるべきだろう？」と考え、様々な改善を図るべく現場や業界団体、行政などに働きかけをしてまいりました。しかし、制度や業界団体の壁は想像以上に高く、世界第二の経済大国を謳歌したわが国の現状について、欧米先進国に比べるべくもない状況にあることを国民は知らされておられません。誰もが障害を持つであろう年齢になることを忘れ、閉ざされた世界の中で専門家のみによって医療や介護が上から目線で行われていることを深く憂慮している次第です。

老若男女が尊厳を持ち、相互に認め合う友愛の精神に満ちた地域社会、体の不自由さに関係なく自己実現に前向きに何度でもチャレンジできる、そんな楽しく生きられる社会の構築を目指します。真の福祉国家となる為、福祉施設やシルバーシートなどが無くても誰もがあたりまえに手を差し伸べ合うような、欧米を凌ぐ本当の福祉（安心安全）社会を実現したいと考えております。

プロフィールやトピックスなど
詳しくはホームページで確認ください

<http://www.team-kazuyuki.com/>

会長 尾崎文彦





生涯学習部から

お知らせ

● 新人教育プログラム・専門認定理学療法士に関わる履修ポイントについて

新人教育プログラムおよび専門認定理学療法士に関わる履修ポイントは、マイページにてご確認ください。
現在、生涯学習手帳制度は終了しておりますので、マイページ上の履修状況が、最新の履修状況となります。マイページをご確認の上、今後開催されるセミナー・研修会にご参加ください。マイページは協会ホームページよりログインできます。新プロ単位・専門認定ポイント（学会発表や参加など）は概ね2ヶ月後以降にマイページに反映されます（履修履歴に関するお知らせより）。

なお、新人教育プログラムおよび専門認定理学療法士に関わる履修ポイントのお問い合わせ窓口は、日本理学療法士協会事務局となっております。

● 第1回新人教育プログラムセミナーについて

第1回新人教育プログラムセミナーを下記の通り開催します。

日 時：平成25年6月2日（日）9：30～12：00

場 所：畿央大学 KB04教室

所在地：奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2

T E L：0745-54-1601

参加費 奈良県理学療法士会 会 員： 各テーマ1000円（計2000円）

非会員： 各テーマ2000円（計4000円）

〔内容〕

9：30～9：40

受 付

9：40～9：45

オリエンテーション

9：45～10：45

『理学療法と倫理』（旧テーマ：職業倫理・管理運営）

門脇 明仁先生 奈良県立奈良病院

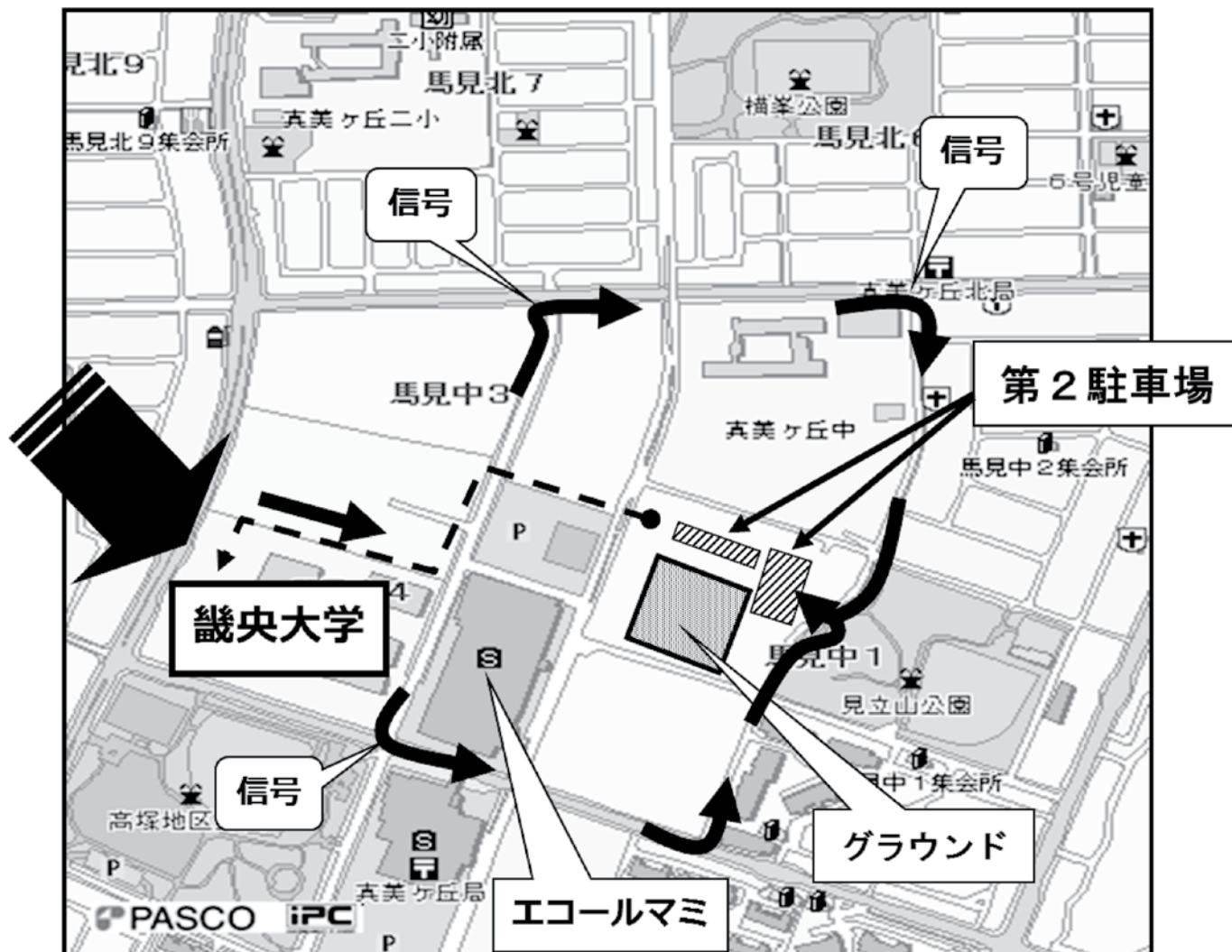
11：00～12：00


『協会組織と生涯学習システム』（旧テーマ：同名）

尾崎 文彦先生 東大寺福祉療育病院

- 当日、会員確認を行いますので、必ず会員証を持参し、提示してください。
なお、平成25年度に新しく入会される方は、セミナー開催日までに入会手続き（会費納入を含む）を完了させてください。新入会手続きが終了している方は、会員証（会員番号）がなくても参加（会員料金）が可能です。当日、会費納入の領収書など、入会手続き完了が証明できるものを提示してください。
- 平成24年度より新人教育プログラムは内容が見直されています。詳しくは平成23年12月のJ P T A N E W S（274、276号）をご参照ください。協会ホームページより閲覧できます。新・旧テーマを確認の上、お間違いのないように受講してください。
- 駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。
- 近鉄五位堂駅からバスにて、馬見中五丁目または真美ヶ丘センターで降りてください。

—畿央大学 第2駐車場案内図— (当日の駐車場所になります)



 が駐車スペースになります。

申し訳ありませんが、大学までは破線のコースを徒歩でお越してください。

□ 問合せ先：

西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部 徳久謙太郎

〒639-0214 奈良県北葛城郡上牧町上牧3238-6

TEL (0745)71-6688(代) FAX (0745)71-1111

E-mail 生涯学習部 s.nishiyamato.reha@gmail.com

平成25年度奈良県理学療法士会専門領域勉強会 第1回特別講習会 ご案内

主催:奈良県理学療法士会

担当:奈良整形外科リハビリテーション勉強会

早春の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、当勉強会にて平成24年度特別講習会を行い、多くのご好評を頂き終了致しました。つきましては、本年も平成25年度特別講習会を開催させて頂くことになりました。今回は股関節障害をテーマに機能解剖学に基づき、評価及び治療まで講習します。日々、臨床での疑問点の解消や、更なる知識・技術の向上を図り、臨床へ応用して頂きたいと考えております。奮ってご参加ください。

テーマ 『股関節障害に対する機能解剖学的評価及び治療』

講師 : **松本正知 先生** (桑名西医療センター 整形外科理学療法室)
整形外科リハビリテーション学会 理事 特別上級指導員:AAA
アシスタント : **熊谷匡晃 先生** (鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科)
整形外科リハビリテーション学会 上級指導員:AA
猪田茂生 先生 (伊賀市立上野総合市民病院 リハビリテーション課)
整形外科リハビリテーション学会 認定指導員:A
近藤秀哉 先生 (吉田整形外科病院 リハビリテーション科)
整形外科リハビリテーション学会

記

日時 : 平成25年6月8日(土)15:00~19:00 9日(日)9:00~16:00

会場 : 大和高原 ボスコヴィラ [〒632-0251 奈良県奈良市針町 3918]

参加費 : 奈良県理学療法士会 会員 10000円 (宿泊の場合 18000円)
県外 13000円 (宿泊の場合 23000円)

* 宿泊の場合——研修費、宿泊費、懇親会、2日目の朝食、昼食を含む。

* 宿泊なしの場合——研修費、2日目の昼食を含む。

定員 : 40名 事前申し込み・先着順 (2日間参加して頂ける方に限ります。)

申し込み方法 : 当勉強会ホームページ上、参加申し込みフォームから申し込み下さい。

奈良整形外科リハビリテーション勉強会 (<http://naraseikeigekareha.web.fc2.com/>)

申し込み期間 平成25年4月1日~4月30日

問い合わせ先: 白庭病院 リハビリテーション科 久野(ひさの) TEL(0743)70-0022

以上

一緒に呼吸療法認定士をめざしませんか？

呼吸療法認定士取得に向けた勉強会 参加者募集のお知らせ

日時：毎月1回不定期の金曜日 19：30～21：00

場所：奈良県理学療法士協会事務所

内容：呼吸療法認定士取得に向けて、テキストに沿って各メンバー持ち回りで勉強会を実施

会費：奈良県理学療法士協会会員 無料

実績：活動開始から4年間で17名が資格取得

資格・試験の詳細については下記URLをご参照下さい。

http://www.jaame.or.jp/koushuu/kokyu/k_index.html

来年度以降の受験を考えている方でも結構です。

興味を持たれている方、質問のある方は下記まで連絡ください。

代表 坂本雅尚（所属：平成記念病院）

連絡先電話番号：0744-29-3300

連絡先e-mailアドレス：mgkx34482@leto.eonet.ne.jp

新年会に参加して

済生会中和病院 山門 愛美

新年あけましておめでとうございます。新年が始まり早くも一ヶ月が経とうとしています。先月、理学療法県士会の新年会が開催され、多くの先生方が参加されました。奈良県のさまざまな地域で活躍されている先生方のお話を聞かせて頂く事や、同じ一年目として頑張っている仲間との親睦を深めることができ、とてもいい新年会となりました。当院は急性期の病院ですが、回復期など他の病院の様子も知ることができ、勉強になることがたくさんありました。また、日頃の仕事の事を忘れ、日常会話も楽しみましたが、皆さん理学療法士という仕事で見えない絆で繋がっているようなそんな気持ちになりました。あっという間に過ぎてしまった新年会でしたが、色々な場所で理学療法士として働く先生方に刺激を受け、今年一年新たに頑張ろうと再度認識することができました。最後になりますが、このような機会を作ってくださった皆様に厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



第1回 介護予防推進セミナー 印象記

介護保険部では去る平成24年12月2日（日）に第1回 介護予防推進セミナーを開催しました。このセミナーは、急激な高齢化が進む奈良県下において、今後、特に重要視されるであろう介護予防事業に、リハビリ専門職である我々がどの様に介入していくべきかを考える良い機会になる様にと開催いたしました。

今回は79名の参加を頂きました。内訳としては理学療法士50名、作業療法士9名、言語聴覚士2名、ケアマネジャー1名、県職員1名、理学療法学生16名です。

これより掲載するのはセミナーに参加頂いた方からの印象記です。平成25年度も第2回介護予防推進セミナーを開催予定です。皆様お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ち致しております。

介護保険部 部長 櫻井 公統

奈良県理学療法士会介護保険部

セミナー印象記① 理学療法士の立場から

介護老人保健施設リンク檀原

理学療法士 西川 誠

第1回 介護予防推進セミナーに参加し、奈良県の介護予防の現状と将来に向けての具体的な取り組みについてお話を聞かせて頂きました。他職種、学生の参加も多く実践的なコーチングの研修もあり、和やかな雰囲気でのセミナーが開催されていました。

初めに奈良県庁の大原賢了講師から、奈良県の介護予防の取り組みや方針が全国・近隣府県との比較を豊富なデータで視覚的にわかりやすくご説明頂きました。

奈良県が抱える介護予防の問題点に具体的に取り組まれている大西丈二先生と高取克彦先生から、奈良県は救急体制の情報共有システムなど全国的に先行している事業もあるが、介護予防事業に関しては行政とセラピストが一体になって取り組めていない現状があるとお聞きしました。

今後も加速度的に増加する高齢者の介護予防に対して、理学療法士が積極的に地域に役割を求めていき、真のアウトカムを可視化していく具体的な事業があることをセミナーで知ることができました。これからも奈良県の介護予防に役立っていると実感できるような仕事をしていきたいと感じました。ありがとうございました。

セミナー印象記② 言語聴覚士の立場から

医療法人新仁会 奈良春日病院

言語聴覚士 園田 明宏

平成24年12月2日（日）に畿央大学にて開催された第1回 介護予防推進セミナーに参加させていただきました。休日にも関わらず、県内の理学療法士を中心として大勢のセラピストや学生が参加されていました。当日は4人の先生からご講義を頂き、県内の医療・介護に関する様々なデータを基にして分析された現状と問題点、介護予防事業に関する現在の取り組みや問題点およびその対策、それらを踏まえ我々セラピストに今後求められていることは何か、そして臨床場面において患者さんの能力を引き出すためのコーチングというコミュニケーションスキル等についてとても分かりやすく丁寧にお話して頂きました。半日という短い時間でしたがとても充実した内容でした。

私は奈良市内にある医療・介護療養型病床を中心とした維持期の病院で勤務しており県内で働くのは今年で5年目になります。維持期病院の特性から、当院で終末期を迎える患者さんが多数おられます。今までは、院内に限定した環境下での臨床業務という狭い視野でしか物事を考えられていませんでした。しかし、今回このセミナーに参加し、近い将来、我々が経験する超高齢化社会における様々な問題に対して、どのような取り組みが必要であるのか、そのことをしっかりと考え、行動していく必要があると感じました。県内の病院・施設の特性、介護予防事業における地域間格差や県内各地域の事業所等で独自に行われている介護予防教室における問題点、そういう状況の中で、今後我々セラピストに求められているのはマネジメント力であるという大西先生のコメントはとても印象的でした。今後、県内の介護予防事業に関する介護予防セラピストネットワークの存在がその中心を担っていくこと、更に既に始まっている奈良県健康長寿共同事業の中のオリジナル体操ワーキンググループのような取り組みも、県

内各地域の高齢者のより良い生活を支えていく地道な活動であり、重要であると感じました。

古都奈良が、高齢者に対してやさしく、安心して暮らせる街になるために、我々セラピストが社会に対して貢献出来ることは何かということを考え、行動していく事が大切であることを再認識しました。今回このような貴重なセミナーを開催して頂きました奈良県理学療法士会関係者の方々に感謝致します。ありがとうございました。

セミナー印象記③ 作業療法士の立場から

医療法人医誠会 橿原リハビリテーション病院

作業療法士 谷村 賢司

奈良県で生まれ育ち、作業療法士となりはや7年目が経ち、年々この仕事の魅力を感じているこの頃です。地元奈良県が大好きで地域の地域高齢者介護予防に貢献したいという気持ちがさらに増した先日の「第1回 介護予防推進セミナー」でした。

奈良県の実状を知れた事がまず大収穫でした。その中でも「リハに求められていること」が印象深く残りました。私自身、現在療養型病院、訪問リハといわゆる「維持期」で働かせて頂いています。昨年より当法人が地域リハ事業を拡大し訪問リハの機会が増えてきました。偶然訪問地域が地元宇陀市ということもあり、リハビリテーションの認識が非常に低いことが感じられます。昔の名残で在宅介護者も多いこともよく耳にします。研修会でも仰っていましたように、介護予防目的でも地域にもっと進出していければと強く感じました。

又、臨床コーチングも非常に勉強になりました。「リハマネジメント」の視点からも必要な技術である為、良い機会を設けて頂き誠に深謝致します。第2回以降も楽しみにしております。

セミナー印象記④ 学生の立場から

畿央大学健康科学部理学療法学科

4 回生 佐々木将人

今回「第1回 介護予防推進セミナー」に参加しました。私は理学療法士になる者として日本の高齢化社会の問題点やそれに向けてどのような動きがあるのかを学びたい思いで参加しました。

大原賢了先生（奈良県庁産業医・福祉部）の講義では、日本は近い将来世界一の高齢者国になり、患者数・医療費の増加し、その結果医療従事者・医療費負担などが増加するという問題点をわかりやすく提示していただきました。

大西丈二先生（奈良県立医科大学）と高取克彦先生（畿央大学健康科学部理学療法学科）の講義では、上記の問題点に対しての解決への視点やセラピストの必要性を私見を交えてお話して頂きました。また、二次予防事業モデル地区での二次予防事業参加者と非参加者の要介護認定率の変化のEvidenceも提示していただきました。

そして、宮重有貴先生（松下病院訪問リハビリテーション）の講義では、患者さんとのコミュニケーションを良好にする一つのテクニックとしてコーチングを実践形式で学ばせて頂きました。

これら4つの講義を聴き、私は医療・介護領域の現状や問題点を知るだけでなく、解決策や必要なこと、すべきことまで知り、考えるきっかけとなりました。私たち若い世代は今後の日本の行く末を良い方向に変えることのできる世代だと思っています。そんな世代の一員として本日学ばせていただいた知識や先生方の熱意やマインドを忘れることなく、頑張っていきたいと強く思いました。



平成24年度 第3回研修会 ～印象記～

日 時：平成24年12月16日（日）

テーマ：「痛みの神経科学と臨床応用」

講 師：信迫 悟志 先生（東大阪山路病院リハビリテーション科）（畿央大学健康科学研究所研究員）

参加人数：会員59人、非会員1人



今回の研修会では東大阪山路病院リハビリテーション科・畿央大学健康科学研究所研究員の信迫悟志先生をお招きして「痛みの神経科学と臨床応用」というテーマで講義していただきました。

内容としては、痛みに関連する脳活動と痛みを感じるメカニズムからMoseleyGLらの研究論文を用いて運動イメージによるリハビリテーション介入、Ramachandranらの研究論文を用いてMirror Therapyによる介入等、臨床で活用できる内容をご教授して頂きとても興味深い内容だったのではないのでしょうか。

私自身としては一次感覚野（S1）・二次感覚野（S2）・前部帯状回（ACC）・島皮質（Ins）など痛みに関連する脳活動を実際の脳画像を用いて説明して頂き、『痛みが生じていないにも関わらず、辺縁系領域に過活動が起り痛みが生じてしまう。』など臨床でよく経験する内容をスライドでポイントを明確に指導して頂き、理解できたのではないかと思います。また橈骨遠位端骨折や慢性腰背部痛を例に慢性疼痛のメカニズムを解説して頂き、明日の治療にでも生かされる内容もたくさんある研修会でした。

いうまでもなく、今回のテーマである『痛み』は私たち理学療法士にとって治療実施の一つになっていると思われます。自分自身この研修会で痛みについての知識を深め、私たちが『痛み』に対してどう評価し理学療法を選択・実施すべきか改めて考えさせられる研修会でもありました。

最後になりましたが、ご多忙のなかご講義いただきました信迫悟志先生に深く御礼申し上げます。

研修部 西村 忠士

平成24年度 第4回研修会 ～印象記～

日 時：平成25年3月3日（日）

テーマ：「心疾患のリハビリテーション～虚血性心疾患、心不全、不整脈を中心に～」

講 師：田原 将之先生（東宝塚さとう病院）

参加人数：会員63人、他府県会員1人、非会員0人、学生0人



今回の研修会は、東宝塚さとう病院の田原将之先生をお招きして、「心疾患のリハビリテーション～虚血性心疾患・心不全・不整脈を中心に～」というテーマで講義をして頂きました。臨床で携わることの少ない循環器分野の勉強会ということもあり、参加されていた先生方は普段の勉強会より一層、経験年数の層も幅広く、熱心に講義を聞いておられるように感じました。

内容としては、まず午前中に「心臓リハビリテーション」とはなにか、歴史や年齢層、運動療法についての概要を講義していただきました。治療技術の発展による救命率の向上や心臓リハビリテーションの傾向の変化についての講義から、改めて総合的な対応力が今後理学療法士には求められてくると感じました。また、高齢な患者様は循環器疾患を合併している割合が半数近く占めているという現状からは、心臓リハビリテーションを実施していない病院・介護施設であっても、リスク管理と判断力が更に重要になると感じました。そして、これからの理学療法では障害や合併症、再発の予防という観点が必要になるという点が一番印象に残りました。

午後からは、サブテーマにある虚血性心疾患・不整脈・心不全について分かりやすく講義していただきました。病態や運動療法を実施するうえで、評価から得られる情報をどこまで読めるかが如何に重要で、またその情報を的確に報告することが理学療法士に求められると教えていただきました。また、私達が一度は悩む運動負荷強度についても、患者さんの訴え方や指示の仕方を例にだして分かり易く教えていただきました。「リスクファクターの確認、心不全徴候の確認、運動時の反応やバイタルサインのチェック」これは、理学療法士が常にでき、また一番重要あり、明日からの仕事でも使用していけるのではないのでしょうか。

今回の研修会を通じて、心疾患のリハビリテーションがより身近に感じる事ができました。また、「循環器分野＝難しい」という概念が払拭されたのではないのでしょうか。今後、奈良県内においても心疾患に関わる機会が増えると思いますが、勉強会で得た知識から情報を見極めて評価すると良いのではないのでしょうか。

最後になりましたが、ご多忙の中、ご講義頂きました田原先生に深くお礼を申し上げます。

研修部 大森 智香子

平成24年度第7回定例理事会議事録

日時：平成24年12月8日（土） 14：10～16：15

場所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事 尾崎、石橋、佐藤、松村、西田、
廣池、中村、中西

監事：中俣

議事録署名人：松村、廣池

委任状：増田、田平

書記：中野

- 議事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 近畿ブロック役員会報告
4. 賛助会員の扱い
5. 理事会日程
6. 各局・各部・委員会報告
7. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 10/20 第52回近畿理学療法学会 会場打ち合わせ
 /20 なら新人研修システム『装具・車いすコース』 情報交換会
 /27 県放射線技師会創立60周年記念式典
 /31 なら新人研修システム『装具・車いすコース』 修了証授与式
 11/2 第52回近畿理学療法学会 第16回準備委員会
 /8 新人研修委員会、近畿理学療法学会 備品搬出
 /10 日本理学療法士協会 第3回近畿ブロック委員会
 /10 日本理学療法士協会 近畿ブロック役員懇親会
 /11 第52回近畿理学療法学会
 /16 厚生部 PTOTSTポウリング大会、近畿理学療法学会 備品搬入
 /17 なら新人研修システム『訪問リハビリテーションコース』 情報交換会
 /21 20周年事業準備委員会 第3回会議
 /22 県公益法人改革個別相談会、北和ブロック症例検討会
 /26 調整会議
 /27 公益法人化推進委員会 申請書類班会議
 /28 高市早苗応援団 緊急会議
 /29 北和ブロック症例検討会（代：松村）
 12/1 財務部 会議
 /2 介護保険部 第一回 奈良県介護予防推

進セミナー

/7 エリシオンNRH総合施設開設準備室

金子氏・山下氏・井上氏 来訪

/8 定例理事会 第7回

2. 会員異動承認

平成24年10月14日から12月1日までの会員異動が理事全員に承認された。

3. 近畿ブロック役員会報告

(1) 士会長会議（尾崎会長）

- ・新卒者の就職先の調査に関しては、パンフレット等を配布するときに、一緒に申込み葉書を入れ、新卒者から葉書を協会へ返送してもらい、各都道府県士会へ通知する仕組みへ変える。各士会から養成校へお願い文を送る案も出ていた。
- ・4・5月退会者の年度の会費に関しては、各士会にて対応を決める。
- ・理学療法講習会に関して、参加者が多い講習会もあるが、定員割れしている講習会が多い。定員割れの要因として、HP上での申し込み方法が分かりづらくなっている。
⇒現在、HP上では申し込み方法が分かりやすいように、段階分けしている。
- ・廃用症候群が2年後になくなることに、かなり減収になる施設がでてくる。
- ・3交代制のリハスタッフに関しては、慢性期側からの反対により話は頓挫している。
- ・リンパ浮腫の研修会に関して、協会としては基本、反対している。明らかに営利目的の研修会もあり、認定を受けないと施行できないという誤解も招いている。
- ・癌リハの研修会に関して、公的な案内に申し込んでもなかなか当選しないため、各都道府県で開催している例もある。しかし、癌リハに関しては某大学が仕切っているため、許可なしに開催すべきではないという話が出ている。
- ・未納退会者の対策に関して、全国で年間900人の未納退会が出ている。
⇒中堅職員対象の研修会を開催することで、中堅職員の入会意識を高め、若い職員の退会も減らしていく。

(2) 学術局会議（石橋理事）

- ・第52回近畿学会の準備委員会の報告を行った。
- ・京都市会より第53回近畿学会の準備委員会の報

告があった。日程は平成25年11月3日に決定。京都国際会議場が利用できなくなったため、国際会館のホールにて開催することとなった。口述発表はなく、全てポスター発表とする。HPは立ち上がり、随時、講演内容等は広報される。

- ・第54回近畿学会は大阪で開催される。
- ・臨床実習指導者の研修会に関して、今年度は和歌山で開催され、来年は滋賀、再来年は奈良で開催される。協会主動で行い、各士会は日程と開催場所を調整し、予算も発生しない。
- ・新プロのポイント認定に関して、今までは各士会で行っていたが、他士会で受講できる制度へ変更された。各都道府県で会費の徴収が異なっている。
⇒会費の徴収に関しては各都道府県にて対応する。
- ・近畿学会の演題登録に関して、現在、協会のシステムが利用できない。今後は演題登録の業者を統一するような案が出ている。
- ・近畿学術大会を今後どうしていくか、2、3年のうちに学術担当で検討していく。

(3)社会局会議 (佐藤理事)

- ・中学校、高等学校に対する職業講座や講師依頼に関する情報交換を行った。士会が窓口となって学校へ講師を派遣している例はなく、個人レベルで行っている。

4. 賛助会員の扱い (尾崎会長)

- ・会費未納の賛助会員の扱いに関して検討された。
⇒定款上では、2年支払いがなければ退会扱いとしてもよいが、請求書を送付した結果、期限内に支払いがなければ退会とする。

5. 理事会日程 (尾崎会長)

- ・理事会および定期総会の日程が決められた。
2月17日(日) 拡大理事会
3月9日(土) 理事会
5月18日(土) 第20回定期総会

6. 各局・各部・委員会報告

(1)財務部 (中俣監事)

- ・田野瀬衆議院議員懇親会の領収書紛失に関する支払いについて
⇒理事会にてA理事の紛失した領収書に対する支払いが認められた。財務部にて適切に対応する。

(2)高次脳機能障害の講習会について (西田理事)

- ・1/20に専門職対象の研修会があり、西田理事が参加する。

(3)財務監査について (中俣監事)

- ・12/1に財務監査を行った。現金・帳簿・通帳・領収書等は適正に管理されていた。

(4)20周年記念式典について (西田理事)

- ・当日のスタッフは12名程度で宿泊は考えていないが、念のため宿泊の値段の確認は行っている。
- ・参加者に関して、協会長のスケジュールは調整済で、議員への打診は選挙後に行う。田野瀬良太郎氏の参加に関しては、お世話になったため打診する。
- ・賛助会員への感謝状や功労賞の表彰を検討している。
- ・記念式典を公益会計としていたが、公益相談の際に法人会計であると指摘を受けたため、法人会計として財務処理を行う。
- ・ニュースのイラストの作者に案内状を送付し、出席可能であれば、作品の展示や特別感謝状を贈ること等を検討する。

7. その他

(1)田野瀬太道氏の出発式について (尾崎会長)

- ・本会からは出席していない。

(2)介護老人保健施設の整備事業者の選定について (中村理事)

- ・平成25年度の介護老人保健施設整備事業者の選定が決まり、報告があった。

(3)山口かずゆき政経セミナーについて (尾崎会長)

- ・会券は8枚購入し、出席しないことが決められた。

(4)なら介護の日について (尾崎会長)

- ・今年度は参加していないが、詳細の連絡があれば報告する。アンケート結果はMLにて報告済みである。

以上

平成24年度第8回定例理事会議事録

日時：平成25年1月12日（土） 14：10～16：35

場所：奈良県理学療法士会 事務所

出席者：理事 尾崎、増田、佐藤、松村、西田、
廣池、中村

監事：中俣

議事録署名人：佐藤、西田

委任状：石橋、田平、中西

書記：中野

- 議事：1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 近畿ブロック役員会報告
4. 各局・各部・委員会報告
5. その他

1. 会長行動報告（尾崎会長）

- 12/9 生涯学習部 第三回新人教育プログラム
セミナー
/9 奈良マラソン
/10 なら新人研修システム『訪問リハビリ
テーションコース』修了証授与式
/12 県障害者介護給付費等不服審査会
/16 研修部 第3回研修会
1/4 調整会議
/5 日本理学療法士協会 臨時近畿ブロック
士会長会議
/12 定例理事会 第8回

2. 会員異動承認

平成24年12月2日から平成25年1月12日までの会
員異動が理事全員に承認された。

3. 近畿ブロック役員会報告（尾崎会長）

近畿ブロック代表会長である大工谷先生が協会の理
事会へ出席され、その報告を受けた。

(1)日本看護協会について

- ・理学療法士の夜勤勤務に対して、慢性期医療協
会から要請の動きがある。

⇒看護協会は反対の意向で動いている。

- ・病棟配置の基準を作る動きがある。

⇒内容をみながら他団体と協議しつつ進めてい
く。

(2)リハビリテーション五団体について

- ・五団体を解散して、NPO日本リハビリテー
ション看護学会や回復期リハビリテーション病
棟協会等を含め、九団体で活動する案が出てい
る。

⇒協会は反対の動きで進めている。

(3)災害研修について

- ・DMA Tの連携強化の確認とDMA Tの研修会
会員の範囲を決定した。研修会への派遣に関し
て、近畿では南海大地震を想定して、大阪と和
歌山に依頼がきている。

(4)予防理学療法への関わりについて

- ・コナミスポーツ&ライフやルネサンス等の企業
が、予防理学療法の推進を協会へ提案してく
ている。

(5)休会者減少対策について

- ・休会からやがて退会してしまう会員が多いの
で、休会者に対して休会しないような対策（夫
婦割引等）を検討し始めている。
- ・定年後に休会する会員に対して、永年会員とす
る案も出ている。

(6)協会新組織について

- ・組織・機構図、定款細則変更案のブロックに関
する内容について説明があった。
- ・今後のブロックのあり方について意見交換が行
われた。

⇒協会からブロックに関するアンケートがきた
ら、近畿ブロックで意見を統一していく。近
畿ブロックはブロックを残していくというこ
とで意見が一致した。

- ・新組織は学術的な部分が強くなっていくのでは
ないかという意見がでている。

(7)委員会における都道府県会長の役割について

- ・協会と各都道府県とを結び、各都道府県の士会長
の意見を聞く目的で、各種委員会の中に各都道
府県の士会長が入るようになっていく。

(8)山口かずゆき支援に係る選挙運動用通常ハガキ (公選ハガキ)の取り扱いについて

- ・近々、公選ハガキ約4500枚（会員数×5枚）
が送られてくる予定であり、1会員5枚書いて
もらう。ポストへの投函を防ぐため、回収方法
を検討する。

⇒自宅会員は見送る。理事と後援会の長にハガ
キの分配を依頼し、3月の理事会にて回収す
る。最新の名簿を確認し、依頼する施設をM
Lにて確認し合う。

- ・4月のニュースにて、会長より会員へ支援を呼
びかける。

4. 各局・各部・委員会報告

(1)公益法人化推進委員会（増田理事）

- ・12/26に公益法人への移行申請を無事終えた。
4/1までに移行できるよう進めていく。
- (2)リハ3団体合同 訪問リハ実務者研修会（佐藤理事）
 - ・現在、PT10名、OT10名程度の申し込みがあり、全体で30名程度の受講者となりそうである。今後の申し込みが増えても、定員内（50名）に収まりそうである。
 - ・今後、研修会の回数を重ねる毎に受講者数は減少することが予想される。
- (3)高次脳機能障害研修会（西田理事）
 - ・専門職対象に高次脳機能障害コーディネーターの講習が行われ、当日のスタッフとして西田理事が参加。
- (4)法人設立20周年記念事業準備委員会（西田理事）
 - ・衆議院選挙が終わったので、田野瀬良太郎氏、田野瀬太道議員、高市早苗議員に対し式典への参加を打診する。
 - ・その他の国会議員や知事・市長等への参加依頼に関しては、委員会を開催し検討する。
- (5)理学療法啓発部（佐藤理事）
 - ・来年度は公開講座と抱き合わせで啓発事業を行っていく。啓発部会で再来年度以降は、公開講座も啓発部の事業に入れて、一括で行ってい

くと活動方針が立てやすいのではないかという提案があった。

⇒公益法人移行後に組織と各組織の分掌規程を検討し直す必要がある。4月以降に検討委員会を発足する予定である。その中で、公開講座を啓発部の中の公開講座係と位置づけることも検討していく。

5. その他

(1)第24回奈良学会準備委員会（中村理事）

- ・準備委員長が決まっていないので、適切な人がいれば推薦していただきたい。

⇒榮崎先生に打診する。

(2)期末監査について（中俣監事）

- ・期末監査の日程を北村監事と相談のうえ、MLにて詳細を報告する。

(3)家財保険やパソコン等の私物の破損時の対応について（中俣監事）

- ・厚生部の細川部長に保険費用の確認を依頼し、適当な費用であれば加入を検討する。また、パソコンについては新たに2、3台購入することも検討する。

以上

賛助会員一覧

| | | | |
|-------------------|----------|---------------------------|--------------|
| (株) 日本メディックス | 564-0044 | 吹田市南金田町 2-12-18 | 06-6369-1201 |
| (株) 富金原義肢製作所 | 571-0039 | 門真市速見町 2101 | 06-6909-6528 |
| (有) カンサイ義肢 | 571-0048 | 門真市新橋町 29-1 | 06-6908-0911 |
| (有) ウィンド | 630-0211 | 生駒市桜ヶ丘 5-29 | 0743-75-3887 |
| (株) 奈良義肢 | 630-8435 | 奈良市西九条 3-2-23 | 0742-62-7979 |
| 奈良ニッセイエデンの園 | 636-0071 | 北葛城郡河合町高塚台 1-8-1 | 0745-33-2222 |
| (株) イカリトンボ、ケアホープ | 636-0154 | 生駒郡斑鳩町竜田西 4-1-40 | 0745-75-2028 |
| テクノブレース | 636-0247 | 磯城郡田原本町阪手 13-7 | 07443-2-5893 |
| (株) 川村義肢エイドセンター奈良 | 636-0343 | 磯城郡田原本町大字秦庄 432-15 | 07443-2-8891 |
| ツザキ・ケア・ブレイス | 636-0347 | 磯城郡田原本町新木 1-141 | 07443-3-3678 |
| (株) 大床義肢 | 639-1045 | 大和郡山市小林町西 1-4-7 | 0743-56-8944 |
| 山一株式会社 | 550-0001 | 大阪市西区土佐堀 1-4-11 金鳥土佐堀ビル5階 | 06-6447-5924 |

会員数・施設数動向

平成25年2月28日現在

| | 施設数 | 会員数 |
|--------------|----------|-------|
| 病 院 | 63 | 659 |
| 診療所・医院 | 11 | 15 |
| 老健・特養・デイサービス | 41 | 70 |
| 訪問看護ステーション | 11 | 25 |
| 市 町 村 | 2 | 2 |
| P T養成校 | 4 | 33 |
| 自 宅 会 員 | | 80 |
| 総施設数 | ※ 132 施設 | |
| 総会員数 | | 884 名 |

※ 施設数には自宅会員を含んでいません。

医療法人 医誠会 檀原リハビリテーション病院

- 【所在地】** 奈良県檀原市田中町104-1
- 【勤務形態】** 常勤（新卒可）、非常勤（訪問のみ・週1日1件～可）
- 【業務内容】** 主に維持期・生活期（訪問リハビリ）の理学療法
- 【対象疾患】** 中枢疾患（約8割）、整形疾患、廃用症候群 等
- 【募集人員】** 常勤：1～2名、非常勤：1～2人
- 【勤務時間】** 8：30～17：00（休憩60分）
- 【休日】** 週休2日制、特別休暇、有給休暇：初年度13日（入職後3日間＋半年後10日間）、慶弔休暇等
年間休日122日（有給除く）
- 【給与】** 常勤：215,000円以上（経験加算あり）
非常勤：訓練20分毎 1,500円～ + 交通費（当院規定による）
- 【保険】** 社会保険加入
- 【応募方法】** 電話もしくはメールにて連絡後、下記の住所に履歴書を送付してください。
応募前の見学も随時可能です。
- 【問合せ先】** TEL：0744-25-1251 担当：リハビリテーション科 谷村
HP：http://www.kashihara-reha.com/

【地域包括ケアシステム・プロジェクトメンバー募集】

“急性期から在宅へ” 10年後スタンダードとなる在宅回復期システムの構築を目指して！
『非日常から Re: 日常へ』 在宅自立のために、自宅と施設、地域を連携・融合をさせて
最後まで自宅で自分らしく安心して暮らせる地域環境創りを一緒に考えて見ませんか？

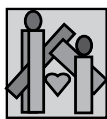
募集人員：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

勤務先：★いこいの家訪問看護ステーション。

★リハビリ特化型地域密着型小規模多機能事業所 いこいの家26（2012年4月開設）

★まちの保健室：地域相談室、サテライト型リハビリセンター（開設準備中）

●各種保険完備、勤務応相談、給与当社規定による、能力加算有。お気軽にお問い合わせ下さい



いこいの家訪問看護ステーション 株式会社ライフケア創合研究所 担当：湯川

〒630-0243 奈良県生駒市俵口町814番地1 ハイネス生駒302号

TEL：0743-70-8300 e-mail：ikoi@kcn.jp http://lifecarejp.com/

施設と地域をつなごう！ならリハビリテーションネットワークメンバー募集中



♪（常勤）理学療法士募集♪

～ Life is Beautiful ～ ともに手をつなぎ ころろ輝く人生を 創造しよう

児童福祉法に基づく児童福祉施設であると同時に医療法上の病院、自立支援法に基づく療養介護です。

旧重症心身障害児施設で、医療・看護・療育・介護・教育・リハビリテーション等で総合的に障害をもつ人たちを支え、重い障害を持つ人が普通のライフステージに立つことを目的としています。

仕事内容：重症心身障害児者の訓練他

勤務地：奈良市鹿野園町1000-1

名称：社会福祉法人バルツァ事業会

重症心身障害児学園・病院

バルツァ・ゴードル

連絡先：0742-21-7111

応募：履歴書を送付ください。おつてご連絡致します。

就業時間：9：00～17：30

年間休日：117日

給与 (理学療法士)
基本給 168,200円～
資格手当 17,000円
支給目安 183,200円～
※経験者優遇

住宅手当 20,000円（条件あり）

通勤手当 上限50,000円

賞与 年2回 4.2ヶ月（平成24年度実績）